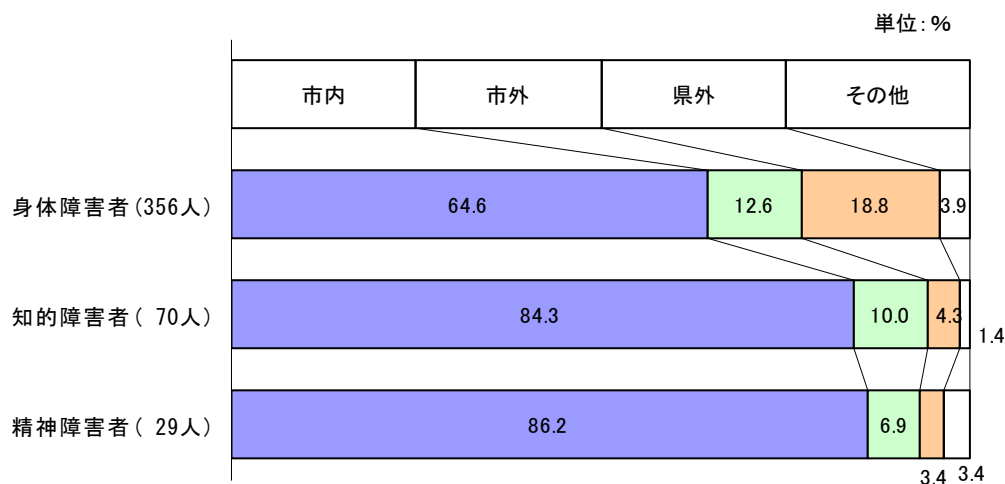


5 就労

(1) 働いている場所

現在仕事をしている人（福祉的就労を含む）が働いている場所は、知的障害者及び精神障害者では市内が 80%台を占めていますが、身体障害者では 64.6%とやや少なくなり、代わって県外が 20%近くとやや多くなっています。



しかし、身体障害の種類により事情は異なり、視覚障害は市内が 81.0%と多く、聴覚・言語障害では県外が 33.3%と比較的多くなっています。

上段：人数（人）、下段：割合（%）

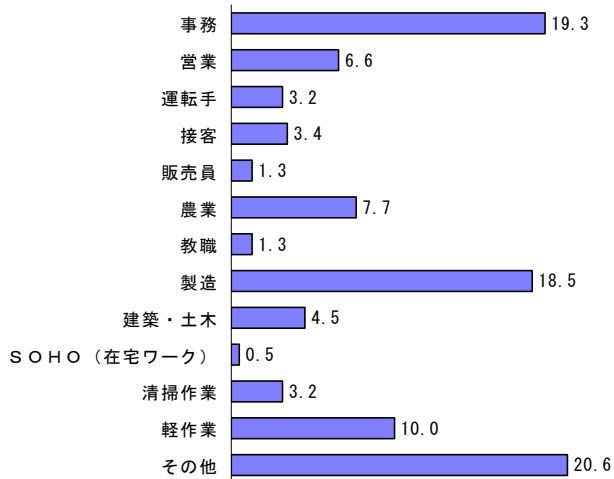
身体障害者		全体	問18 働いている場所				
			市内	市外	県外	その他	不明
合計		356	230	45	67	14	0
		100.0	64.6	12.6	18.8	3.9	0.0
障害の種類	視覚障害	21	17	2	0	2	0
		100.0	81.0	9.5	0.0	9.5	0.0
	聴覚・言語障害	36	17	6	12	1	0
		100.0	47.2	16.7	33.3	2.8	0.0
	肢体不自由	163	111	17	29	6	0
		100.0	68.1	10.4	17.8	3.7	0.0
	内部障害	121	75	20	22	4	0
		100.0	62.0	16.5	18.2	3.3	0.0

(2) 仕事の内容

仕事の内容は、身体障害者では事務及び製造がともに 20%弱と多く、知的障害者、精神障害者では軽作業が約半数を占めています。

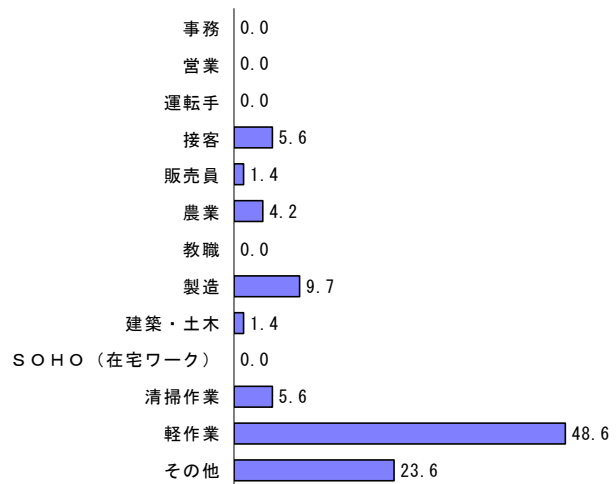
身体障害者 (379人)

単位：%



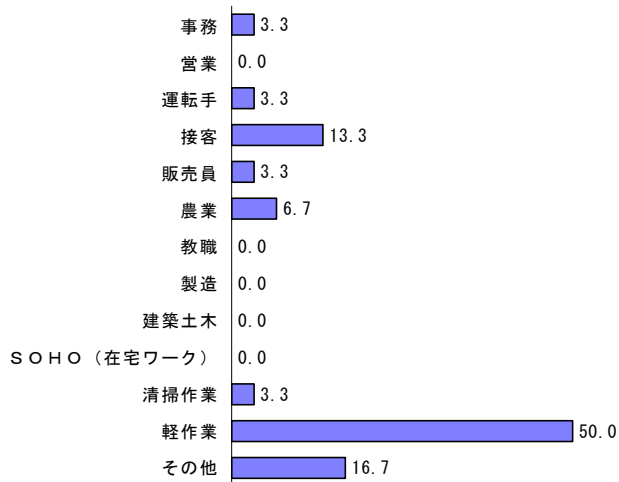
知的障害者 (72人)

単位：%



精神障害者 (30人)

単位：%



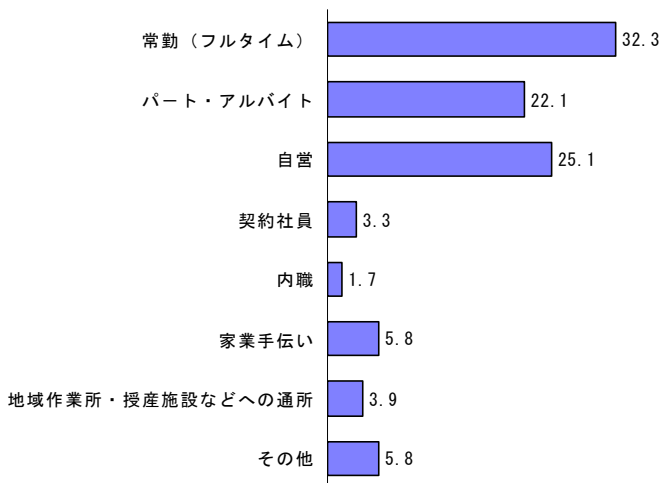
(3) 雇用形態

雇用形態は、身体障害者ではフルタイムの常勤(32.3%)が最も多く、次いで自営(25.1%)、パート・アルバイト(22.1%)と、一般就労が多い。

知的障害者及び精神障害者では、地域作業所・授産施設などへの通所が最も多く、とくに知的障害者では半数を占めています。知的障害者ではこれに次いでフルタイムの常勤、精神障害者ではフルタイムの常勤は5.9%と少なく、パート・アルバイト(23.5%)が多くなっています。

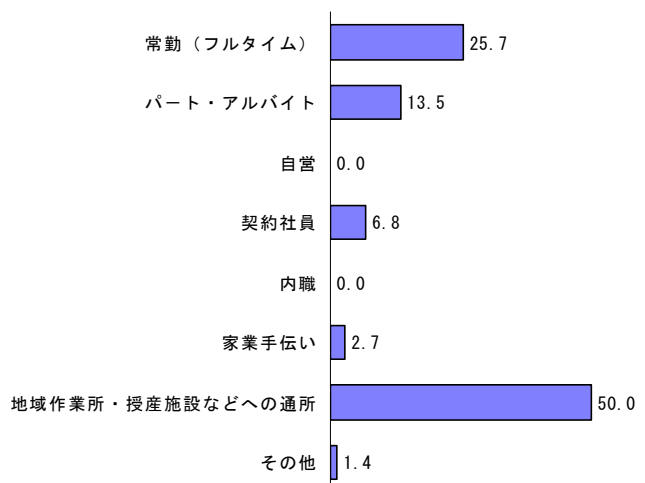
身体障害者 (362人)

単位：%



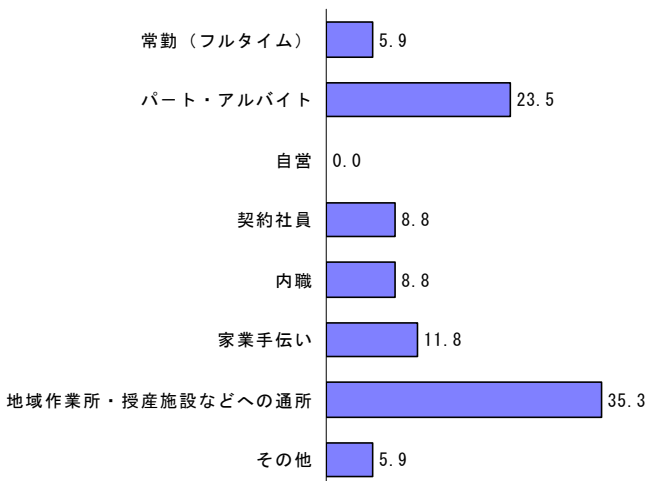
知的障害者 (74人)

単位：%



精神障害者 (34人)

単位：%



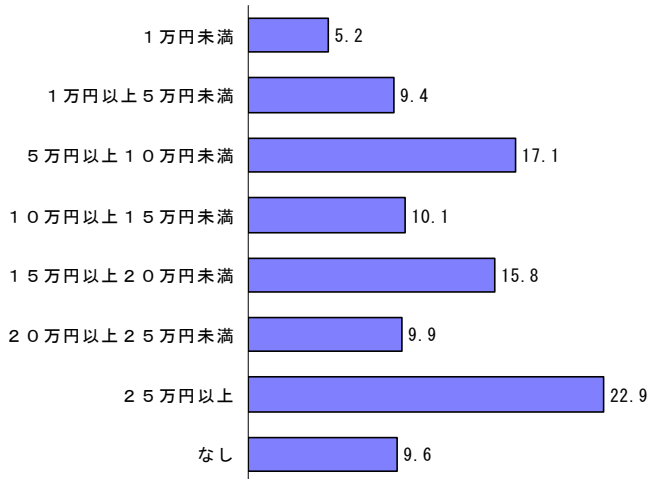
(4) 月収

月収は、身体障害者では25万円以上(22.9%)が最も多く、次いで「5万円以上10万円未満」(17.1%)、「15万円以上20万円未満」(15.8%)となっていますが、知的障害者、精神障害者

では1万円未満が40~50%を占め、次いで5万円以上10万円未満となっています。

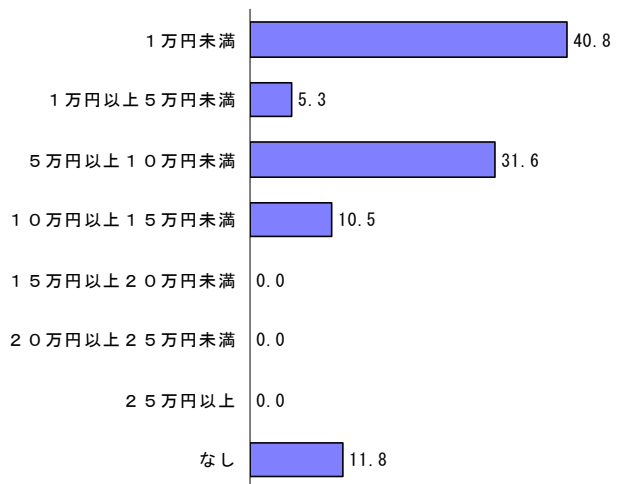
身体障害者 (385人)

単位：%



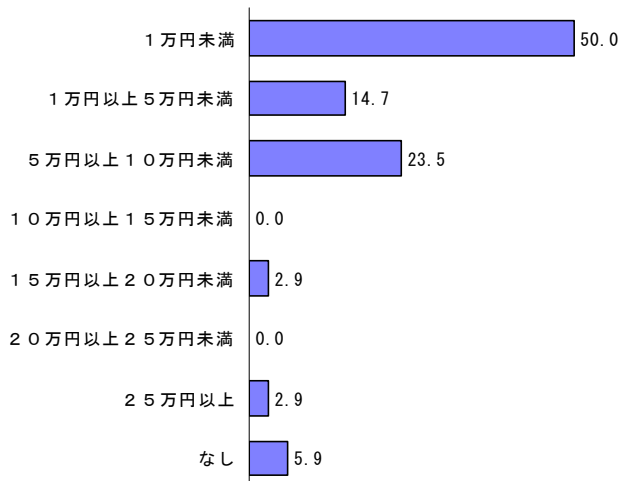
知的障害者 (76人)

単位：%



精神障害者 (34人)

単位：%



(5) 仕事をするうえでの不安・不満

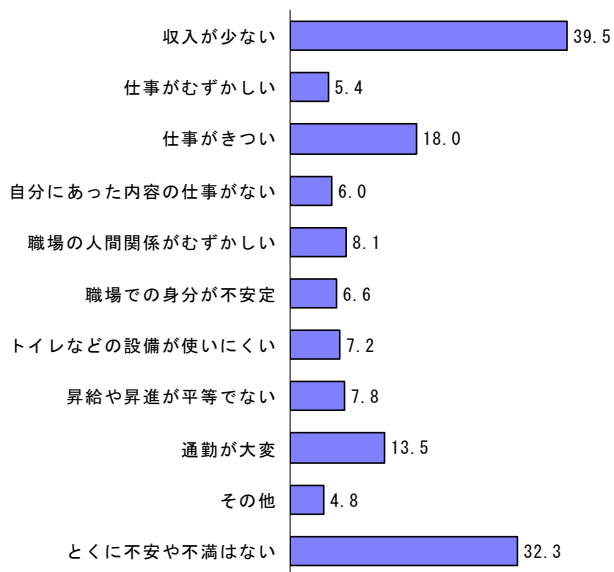
仕事をするうえでの不安・不満は、いずれの障害でも収入が少ないことが最も多くなっています。

このほか、身体障害者では仕事がきついこと、知的障害者及び精神障害者では職場の人間関係がむずかしいことがあげられています。知的障害者では、自分にあった内容の仕事がないことも比較的多くなっています。

とくに困っていることはないとの回答は、身体障害者、知的障害者では30%前後だが、精神障害者では16.7%とやや少なくなり、収入が少ないことに集中しています。

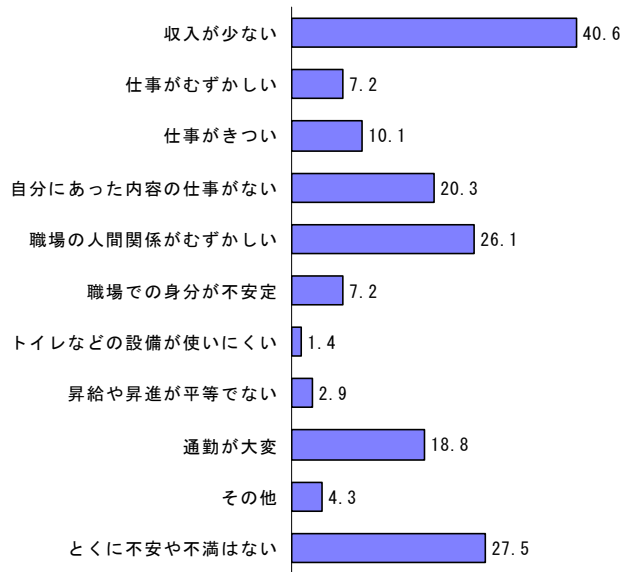
身体障害者（334人）

単位：%



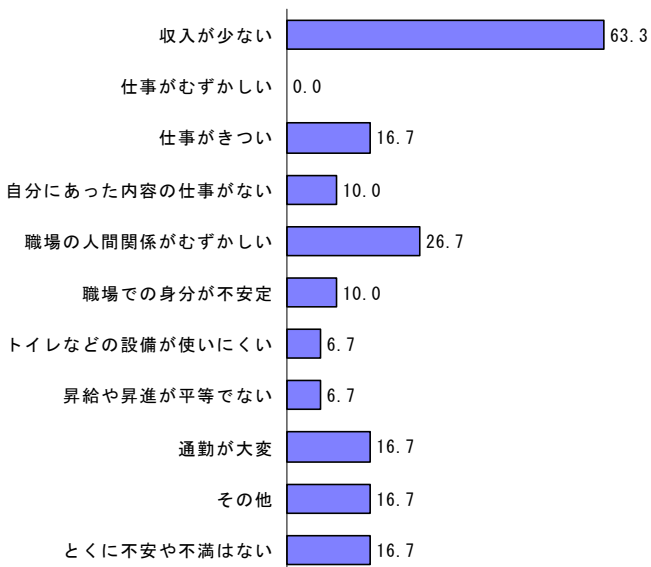
知的障害者（69人）

単位：%



精神障害者（30人）

単位：%



(6) 働いていない理由

現在働いていない人の理由は、回答者の年齢構成が反映され、身体障害者では高齢のため、知的障害者では就学中・就学前のためとの理由が最も多くなっています。精神障害者では障害や病気など健康上の理由が最も多くなっています。このほかでは、いずれの障害者でも、自分の障害の状況にあった仕事がないことが多くなっています。

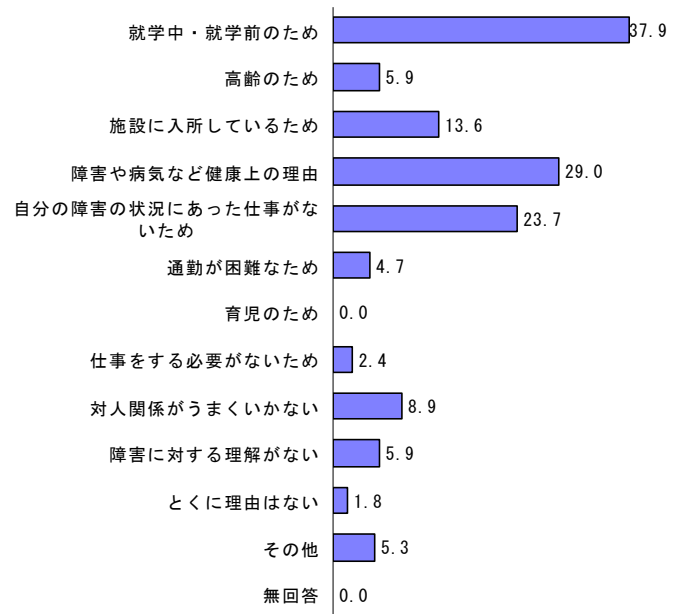
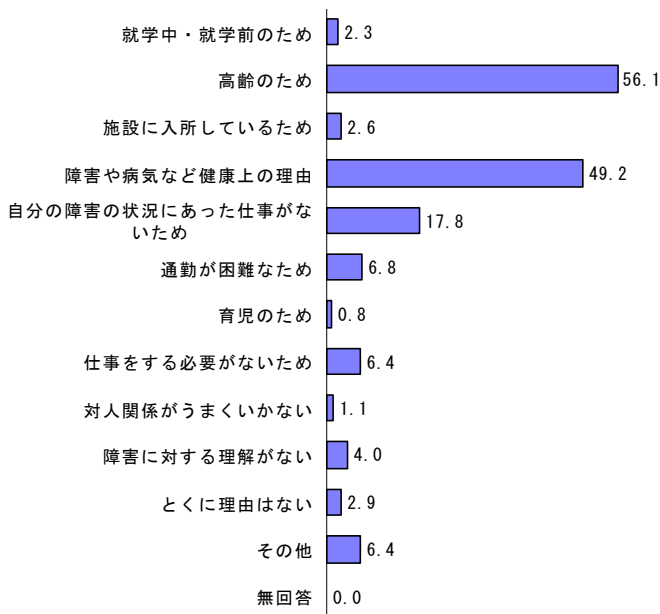
また、知的障害者及び精神障害者では、対人関係やまわりの人の障害に対する理解のなさが比較的多くなっています。

身体障害者（1095人）

知的障害者（169人）

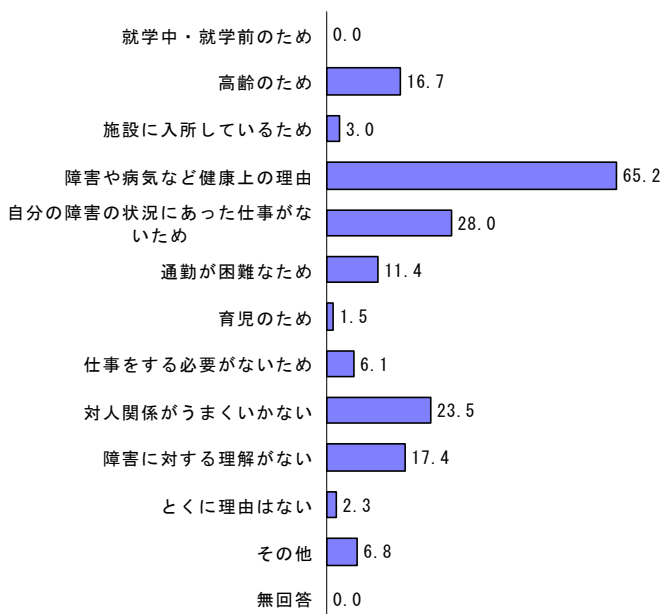
単位：％

単位：％



精神障害者（132人）

単位：％



(7) 働きやすくなるための条件

現在の仕事の有無に関わらず、どのような条件が整えば働きやすくなるかたずねました。身体障害者、知的障害者、精神障害者いずれも、体調にあわせて出勤日数や労働時間を調整できることや障害者を雇用することが多くなっています。

知的障害者では、障害者を雇用すること、精神障害者では就職先の情報提供を充実することが多く、働く機会が少ないことがその背景にあるものと考えられます。

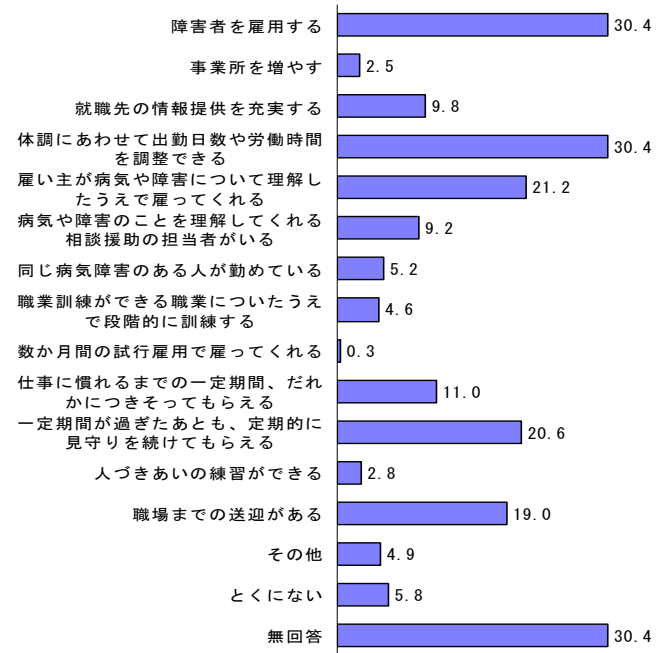
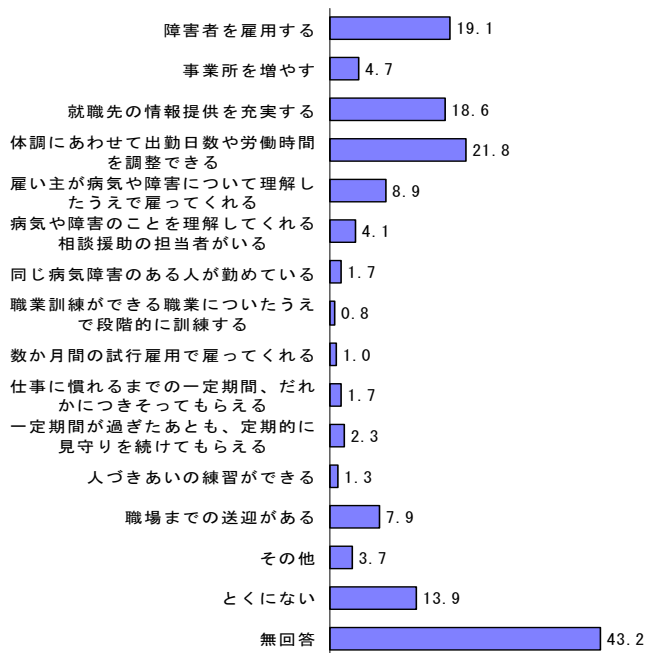
このほか、知的障害者では、一定期間が過ぎたあとも、定期的に見守りを続けてもらえることも比較的多くあげられています。

身体障害者（2073人）

単位：%

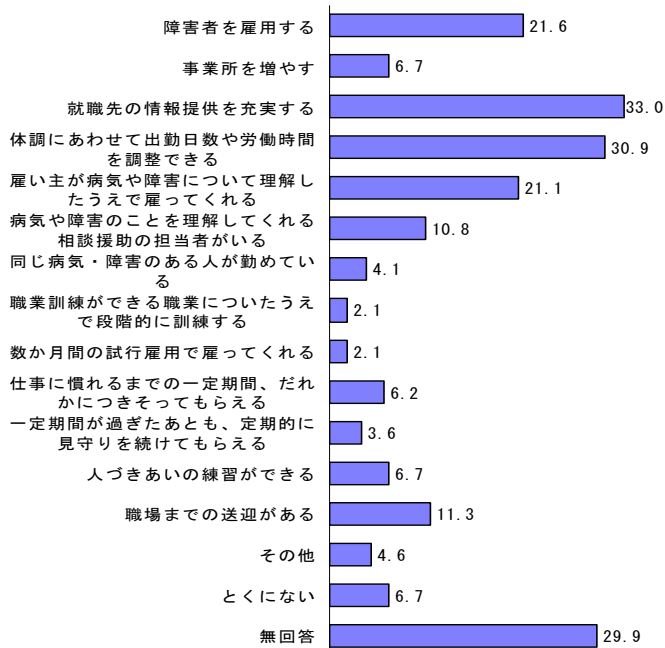
知的障害者（326人）

単位：%



精神障害者（194人）

単位：%



(8) 今後の働き方の希望

今後の働き方の希望について、身体障害者では現在の働けない理由により、障害や病気などのために働けないこと（17.5%）が最も多くなっています。このほかでは、働くつもりはない（11.3%）、現在の仕事を続けたい（11.2%）、会社などで働きたい（4.0%）となっています。

年齢別に見ると、17～39歳、40～64歳で現在の仕事を続けたいとの意向がともに20～25%となっています。17歳未満では、会社などで働きたいとの回答は27人中6人と多くなっています。

上段：人数（人）、下段：割合（%）

	全体	問25 今後働きたいと思うところ													
		た現在の仕事を続け	い会社などで働きた	い自分で事業をした	家業を手伝いたい	き通所授産施設で働	き小規模作業所で働	い福祉工場で働きた	訓職業につくための	その他	働くつもりはない	た障害や病気などの	わからない	不明	
合計	2073 100.0	232 11.2	82 4.0	34 1.6	28 1.4	8 0.4	33 1.6	36 1.7	20 1.0	54 2.6	235 11.3	363 17.5	154 7.4	794 38.3	
年齢	17歳未満	27 100.0	0 0.0	6 22.2	0 0.0	0 0.0	4 14.8	1 3.7	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	5 18.5	9 33.3
	17～39歳	133 100.0	31 23.3	18 13.5	5 3.8	0 0.0	2 1.5	5 3.8	3 2.3	1 0.8	5 3.8	1 0.8	23 17.3	15 11.3	24 18.0
	40～64歳	650 100.0	142 21.8	44 6.8	17 2.6	6 0.9	1 0.2	14 2.2	20 3.1	15 2.3	19 2.9	45 6.9	118 18.2	61 9.4	148 22.8
	65歳以上	1228 100.0	57 4.6	13 1.1	12 1.0	18 1.5	1 0.1	13 1.1	13 1.1	3 0.2	30 2.4	187 15.2	216 17.6	72 5.9	593 48.3

知的障害者でも、障害や病気などのために働けないこと（15.6%）が最も多いが、現在の仕事を続けたい、会社などで働きたい、通所授産施設で働きたいとの回答がいずれも10%強となっており、一般的就労とともに福祉的就労の希望も多くなっています。

年齢別に見ると、39歳以下では現在の仕事、会社など、通所授産施設いずれも多くあげられています。40歳以上になると、障害や病気などのために働けないとの回答が多く見られます。

上段：人数（人）、下段：割合（%）

	全体	問25 今後働きたいと思うところ													
		た現在の仕事を続け	い会社などで働きた	い自分で事業をした	家業を手伝いたい	き通所授産施設で働	き小規模作業所で働	い福祉工場で働きた	訓職業につくための	その他	働くつもりはない	た障害や病気などの	わからない	不明	
合計	326 100.0	36 11.0	35 10.7	1 0.3	2 0.6	38 11.7	12 3.7	15 4.6	10 3.1	6 1.8	4 1.2	51 15.6	34 10.4	82 25.2	
年齢	17歳未満	81 100.0	0 0.0	20 24.7	0 0.0	0 0.0	15 18.5	3 3.7	3 3.7	6 7.4	1 1.2	0 0.0	1 1.2	11 13.6	21 25.9
	17～39歳	170 100.0	31 18.2	13 7.6	0 0.0	1 0.6	19 11.2	8 4.7	11 6.5	4 2.4	5 2.9	0 0.0	31 18.2	15 8.8	32 18.8
	40～64歳	56 100.0	5 8.9	2 3.6	1 1.8	1 1.8	4 7.1	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.6	14 25.0	6 10.7	20 35.7
	65歳以上	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4	3 23.1	2 15.4	5 38.5

精神障害者では、障害や病気などのために働けないこと（24.2%）が他の障害に比べ多くなっています。次いで会社などで働きたい（12.9%）、現在の仕事を続けたい（7.2%）となっています。

上段：人数（人）、下段：割合（%）

精神障害者		全体	問26 今後働きたいと思うところ												
			現在の仕事を続けたい	会社などで働きたい	自分で事業をした	家業を手伝いたい	通所授産施設で働きたい	小規模作業所で働きたい	福祉工場で働きたい	職業訓練を受けたための	その他	働くつもりはない	障害や病気などの	わからない	不明
合計		194 100.0	14 7.2	25 12.9	3 1.5	6 3.1	2 1.0	2 1.0	6 3.1	5 2.6	7 3.6	10 5.2	47 24.2	19 9.8	48 24.7
年齢	17歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	17～39歳	52 100.0	2 3.8	8 15.4	2 3.8	1 1.9	2 3.8	2 3.8	3 5.8	3 5.8	4 7.7	0 0.0	9 17.3	6 11.5	10 19.2
	40～64歳	105 100.0	10 9.5	16 15.2	1 1.0	4 3.8	0 0.0	0 0.0	3 2.9	2 1.9	2 1.9	7 6.7	27 25.7	8 7.6	25 23.8
	65歳以上	29 100.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.4	3 10.3	9 31.0	2 6.9	11 37.9